

環境自然学習 開催報告

外来生物を捕獲して駆除しよう！

7月28日(日) 10:00~12:00 ★ 参加人数：子ども 8人、大人 4人

1. 座学『外来生物について学ぶ』



- (1) 外来種って何？
- (2) 外来生物が何故いるか？
- (3) 浜松市にいる特定外来生物について

3. 体験を通じて



7月捕れた生き物

ジャンボタニシ 125匹、アメリカザリガニ 1匹 ドジョウ 2匹→放流

(小1男子) ジャンボタニシは、石の下だけでなく土の中にももぐっている。

(中3男子) 誰かが手放した外来種を他の人が駆除しなければいけない。

(中3男子) 卵塊(ピンク色)は、水中に払い落とすかつぶす。かわいそうだが駆除するしかない。

2. ビオトープ池の活動



タニシとジャンボタニシの形を比べてみました。
タニシはらせん上部の層が広く、全体的に細長く固い。
ジャンボタニシの殻は、在来タニシに比べて全体的に丸い形をしていました。意外に柔らかい。(両手でつぶせた)
ジャンボタニシはピンク色の卵を産みます。

4. 学び



浜松市市民協働センター「ボランティアクエスト」の中高校生5名が参加しました。

在来種の保護や自然環境の保全について学ぶ中で、特定外来種の強さや自然への影響から「責任を持って飼う」大切さを学ぶことが出来たようです。

写真下：アメリカザリガニのメスです。卵を抱く為に、腹足が長い事が分かりました。



ドジョウが泥の中にいたので、びっくりした。